

平成二十五年学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。このほかに解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号
氏名

一 「聞くこと」に関する検査

2 選択肢

- ア 生徒の姿
- イ 参加者の感想
- ウ 行事の内容
- エ 県大会の様子

4 選択肢

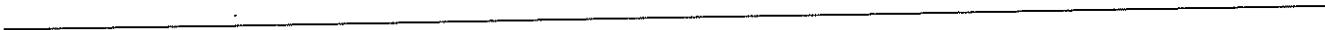
- ア 意見の内容を簡単に整理し論点を明らかにした。
- イ 結論に影響を与えないように、聞くことに専念した。
- ウ 発言の趣旨を確認するために、疑問点をただした。
- エ 話し合いを最後まで共通する点に絞って進行した。

二 次の文章を読んで、1～6の問いに答えなさい。



三 次の文章を読んで、1～6の問いに答えなさい。

---



四 次の【I】【II】を読んで、1～6の問いに答えなさい。

【I】

雪が降り積もった夕暮れから、宮中の女性たちが、縁側近くで火鉢を囲み雪見をしている。暗くなっても灯りを点さずいろいろなことを語り合う女性たち。辺りの雪がたいそう白く見えている。

宵も過ぎぬらむと思ふほどに、杵の音の近う聞ゆれば、あや

しと見いだしたるに、時々かやうのをり、おぼえなく見ゆる人  
(外を見ていると) (思いがけなく現れる男性)

なりけり。「今日の雪をいかにと思ひきこえながら、何でふ事にさ  
(どう) 覧になるかと) (何という事もない)

はり、その所に暮らしつる「よしなど言ふ。「今日来む人を」など  
事に妨げられ) (など)

やうの筋をぞ言ふらむかし。昼よりありつる事どもをうち  
 いったような筋のことを言っているのだろう)

じめて、よろづの事を言ひ笑ひ、円座さし出でたれど、片つ方の

足はしもながらあるに、鐘の音の聞ゆるまでなりぬれど、内に  
(縁側から下に垂らしたまま)

も外にも言ふ事どもは、飽かずぞおぼゆる。

『枕草子』による)

【注】 \*円座……わらで編んだ敷物



【II】(I) を読んだ緑さんと光さんの会話)

緑 途中に出てくる「今日来む人を」というのはどういう意味かしら。

光 「山里は雪降り積みて道もなし今日来む人をあはれとは見む」という和歌をふまえているんだよ。

緑 「こんな雪の日にやってきた私のことを『あはれ』と見てくださるだろうか」ということを言いたいのね。

光 そうだね。女性たちは灯りも点さずに雪を見たり、男性はその日の雪にぴったりの和歌をそれとなく示してみたり、この人たちはかなり雪に関心をもっていたんだね。

緑 そうね。それにしても男性が来てからもずいぶん長い間話し込んでいたみたい。「X」 という部分が時間の経過を表しているのね。

光 でも「飽かずぞおぼゆる」と書かれているから、みんなが「Y」ということが伝わってくるね。

1 【I】の <sup>①</sup>さはり <sup>②</sup>よろづ を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

2 【I】の a～d で、意味・用法が異なるものを、一つ選んで記号を書きなさい。

3 【Ⅱ】の『あはれ』の意味として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 誠実で頼もしい      イ 労苦を厭わ<sup>いと</sup>ない  
ウ 孤独でかわいそう      エ 風情<sup>ふせい</sup>を解している

4 【Ⅰ】の内にも外にも言ふ事どもは を次のように口語訳するとき、「A」「B」に適する語句を【Ⅱ】からそれぞれ抜き書きしなさい。

内にいる「A」が言うことも、外にいる「B」が言うことも

5 【Ⅱ】の「X」に当てはまる周囲の情景を表している部分を、【Ⅰ】の本文中から十字以内で抜き書きしなさい。

6 【Ⅱ】の「Y」に適する内容を二十字以内で書きなさい。

五 次の言葉を読んで、あなたが思ったことや考えたことを、後の〈条件〉にしたがって書きなさい。

〈条件〉

- 1 題名は不要
- 2 字数は二百字以上、二百五十字以内